



## 目次

- (1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ
  - 交通バリアフリー推進の集い冊子配布について
- (2) ネットワーク参加団体からのお知らせ
  - 移送サービス運転協力者研修会 国土交通省福祉有償運送運転協力者研修推奨プログラム
  - コミュニケーション支援用絵記号デザインがJIS化
  - 点字テプラが販売されました
  - 第三回 誰でも楽しもう霞ヶ浦 海の日大会
  - 第4回ピポ・ユニバーサル駅伝
  - 第1回“ふるさと”合唱祭
- (3) エコモからのお知らせ
  - 手話サロンの開設
  - 手話講習会を開催します
  - バリアフリーボランティアモデル事業
  - トランセッド2007開催のご案内(第一弾) First Announcement of TRANSED 2007
  - 旅客船ハンドブック「旅客船バリアフリー基準の解説」を発行しました
  - 参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ～発刊しました
  - バリアフリー学習図鑑(CD-ROM)の公開
  - らくらくおでかけネット
  - 公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について
- (4) 行政からのお知らせ
  - ユニバーサルデザイン政策大綱が公表(国土交通省)
  - 「公共サービス窓口配慮マニュアル」の発行について(内閣府)
  - ～すべての人々が安心して生活できるバリアフリー環境を目指して～(国土交通省)
  - 交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況(国土交通省)
- (5) 各種催し物のお知らせ
  - 日本手話学会第31回大会
  - 第3回ユニバーサルデザイン全国大会
  - 第10回チャレンジド・ジャパン・フォーラム
  - 日本福祉のまちづくり学会第8回全国大会
  - 日本建築学会大会(近畿)
  - 日経住まいのリフォーム博2005
  - 第32回国際福祉機器展 H.C.R2005
  - 福祉用具展 in 杜の都2005
  - REHA CARE(リハケア)国際リハビリテーション展(ドイツ)
  - Mediphar Taipei 2005(台湾)
  - 第18回全国健康福祉祭ふくおか大会 ねんりんピックふくおか2005
  - P.P.C. 2005 第7回西日本国際福祉機器展
  - 2005光州国際シルバー博覧会(韓国)
  - 高齢、障害と自立に関する国際会議(アメリカ)
  - バリアフリー2006
- (6) その他
  - 書籍に関して
  - 記事募集中
  - お願い(必ずお読みください。)
    - ・転送先について
    - ・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

交通バリアフリー推進の集いの当日配付資料(平成15年度、平成16年度)をご希望の方は、ご連絡ください。 FAX:03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.jp

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

移送サービス運転協力者研修会 国土交通省福祉有償運送運転協力者研修推奨プログラム

開催日 7月30日(土)・31日(日)10:00~17:00

会場 日野市立中央福祉センター2階集会室 他 東京都日野市日野本町7-5

定員 30名

普通自動車免許を有し、ボランティア団体やNPO法人等の市民活動による移送サービス実施団体で、運転協力者として活動している方で、活動歴が概ね2年未満の方。定員に余裕がある場合は、営利事業者の方もご参加いただけます。

応募者が多い場合は、連絡会会員を優先します。

参加費 連絡会会員:5,000円 一般:10,000円、営利事業者:15,000円

締切 7月18日(月)消印有効

申込み 専用の申込み用紙を連絡会へご請求いただき、ご記入の上、所属団体からお申込みください。

事前に申込みの無い方のご参加はできません。

都内の移送サービス実施団体の皆様には、移送・移動サービス地域ネットワーク団体連合会から郵送している講習会のお知らせに、ご案内を同封しておりますので、詳細についてはそちらをご覧ください。

申込み・問合せ先 東京ハンディキャブ連絡会

コミュニケーション支援用絵記号デザインがJIS化

経済産業省は、4月20日に、「コミュニケーション支援用絵記号デザイン原則(JIS T0103)」の規格を制定しました。

この規格は、文字や話し言葉によるコミュニケーションの困難な人が、自分の意思や要求を相手に的確に伝え、正しく理解してもらうことを支援するための絵記号に関する日本工業規格(JIS)です。なお、この絵記号は共用品推進機構のホームページでダウンロードできます。

<http://www.kyoyohin.org/>

点字テプラが販売されました

株式会社キングジムから、点字も印字できるテプラが発売になりました。墨字との併記や点字のみの印字も可能。一般のテプラとしても使用することもできます。

詳細はこちらまで <http://www.kingjim.co.jp/products/electronic/tepra/sr6700d.html>

第三回 誰でも楽しもう霞ヶ浦 海の日大会 <http://www9.ocn.ne.jp/~marina/eventnews.htm>

この企画では、アクセスディンギーを通しボランティアの大切さ、年代や障害という垣根を越えたふれあいと霞ヶ浦を知り楽しみます。

開催日 7月16日(土)

時刻 受付開始 9:00 体験会 10:00~15:00

参加費用 保険代他500円の個人負担をお願いいたします。

募集人数 50名

募集締切り日 7月15日

会場 京成マリーナ JR土浦駅東口徒歩10分

申し込み先 FAX又はメールでお申し込み下さい。

京成マリーナ 担当:営業部 加国久雄 〒300-0033 土浦市川口2-13-6

主催 セイラビリティージャパン・土浦支部

協力 土浦一高ヨット部OB会、マリナービーチ協会、障害者カヌー協会、筑波技短手話クラブ、霞ヶ浦市民協会、ヤマハ発動機(株)、京成ホテル(株)、(株)京成マリナー

優待乗船 遊覧船ホワイトアイリス号は高齢者(65歳以上)、子供(小学生まで)

当日無料

その他 小型の馬ポニーに500円で乗れます。(小学生まで)

参加者は下記の体験イベントをすべて楽しめます

1. 車いすトライアル体験 設定されたコースを走り、取り扱いや介助の仕方を学ぼう。
2. 誰でもヨット操縦体験 絶対に沈まない「アクセクディングー」簡単10分で乗れる。
3. 大型モーターボートで霞ヶ浦の水質勉強会クルーズ プランクトンが見られる。
4. ボート免許はどうしたら取れるの体験クルーズ ボート免許に興味のある方、車いす利用者や聴覚障害をお持ちの方、ぜひ参加下さい。試験教官が質問にお答えしながら実際のコースを試験艇で走ります。法改正により障害者のボート免許取得が簡単になりました。
5. 霞ヶ浦の広さを大型ヨットで体験しようクルーズ 大型クルージングヨットにて優雅にそしてダイナミックに霞ヶ浦を体感してください。リッチな気分になります。
6. カヌー、カヤック体験 水と一体になろう。水面から出る「元気イオン効果」で日々のストレスを発散してください。
7. 筑波技術短大のサウンドグループ“ザ・ラザラ”による生演奏が楽しめます。

当ハーバーには車いすトイレ2ヶ所、車いす駐車場、レストランあります。

第4回ピポ・ユニバーサル駅伝 <http://www.npocs21.com/>

競技スポーツのタイムレースではなくチームの目標タイムを目指して、ふれあい、支えあいの楽しさを体験します。チームマネージャーや伴走ボランティアを含め、10人1チームの仲間づくりを行います。ただいま、選手として登録していただける方を募集しています。

日時：9月25日(日)

場所：明治神宮外苑 絵画館コース

最寄駅：JR 信濃町駅(エスカレーター付き)、大江戸線国立競技場駅(エレベーター駅)

参加費：500円(昼食、ドリンク付)

問い合わせ：NPO法人CS21・ピポ駅伝事務局

TEL03-3350-1388 FAX03-5360-3633 E-mail:staff@npocs21.com

第1回“ふるさと”合唱祭 <http://www.youdx.com/furusato/>

長野県中野市(旧豊田村)は、日本人の誰もが知っている唱歌「ふるさと」の発祥の地で、この曲の作詞家、高野辰之氏の出身地です。高野氏は作曲家の岡野貞一氏とコンビを組み、皆さんも馴染み深い「朧月夜」「春の小川」など、文部省唱歌を初め、不朽の名作を数多く残しています。このふるさとに集い歌う第1回“ふるさと”合唱祭にお越しください。

日時：8月20日(土)10:00~17:00

会場：長野県中野市「豊田文化センター」

スケジュール：第一部 参加合唱グループ・団体の紹介と課題曲“ふるさと”の発表

第二部 特別ゲストの公演

第三部 参加合唱グループ・団体の自由曲発表

入場整理券：大人800円、小学生以下500円

参加費：2,000円(出演料、入場整理券)

前夜祭：8月19日(金)17:30~20:00「まだらお山の家」

後援：朝日新聞社、全日本合唱連盟、長野県他

問い合わせ：「ふるさと合唱祭実行委員会」斑尾事務局 ペンション ピュア

TEL0269-64-3464 FAX0269-64-3467

日本旅セラピー協会「ふるさと合唱祭実行委員会」東京事務局

### (3) エコモからのお知らせ

#### 手話サロンの開設

当財団で、手話教室を勉強された方などが集まり、手話サロンを開設しました。交通エコモ財団では手話教室として、手話の基本(現在:初級程度7ヶ月25回)程度を広く交通事業者の従事員に対し、講習していますが、それを修了した受講生から、もっと勉強したいとの要望もあり、受講生の発案のもと手話サロンを開設しました。

#### 手話講習会を開催します

現在、当財団で開催しています手話教室の一環として、手話講習会を開催いたします。「聴覚障害者の公共交通機関の移動について」と題して、全日本ろうあ連盟本部事務所長の大杉豊氏に講演頂きます。

日時:7月28日(木)18:30~20:00

場所:弘済会館4F会議室

#### バリアフリーボランティアモデル事業

国土交通省では「心のバリアフリー」社会の実現に向けた取り組みの一つとして、バリアフリーボランティアモデル事業を本年度全国5カ所で実施します。

ハード(施設)面でのバリアフリー化が拡充されつつも、それだけでは十分に対応しきれない状況もあり、人による付加的な対応が必要になる部分があると考えられます。また、公共交通機関を利用する時の様々なサービスが機械化される中で、人的な対応を行うことが利用者に安心感をもたらすという面もあります。

交通事業者の従業員による対応もさることながら、多様なニーズに柔軟性をもって応えるにはボランティアなどの市民の力に依拠した展開が必須と考えられます。NPOやボランティア等の取り組みと十分に連携を図りつつ、駅及びその周辺においてボランティアモデル事業を実施することにより、一般の人々の意識啓発、人による対応の組織化・活性化を促進するための地域と密着した取り組みを推進し、モデル事業を通じて得られた知見を活かし、人による移動円滑化の支援のあり方等制度化を検討することになっています。

#### 各地の実施予定

##### 関東地区

実施場所:横浜市営地下鉄・京浜急行 上大岡駅

実施期間:8月1日~31日

実施内容:午前9:30~午後5:00まで、改札口付近を中心に市民ボランティアが常駐して、駅利用者のお手伝いをします。

##### 東海地区

実施場所:JR東海・近畿日本鉄道 鳥羽駅

実施期間:詳細については検討中

実施内容:詳細については検討中

##### 近畿地区

実施場所:阪急 石橋駅

実施期間:9月下旬から10月にかけて予定

実施内容:詳細については検討中

##### 中国地区

実施場所:JR西日本 広島駅 及び 広島バスセンター、宇品旅客ターミナル

実施期間:詳細については検討中

実施内容:詳細については検討中

##### 九州地区

実施場所：JR 九州・肥薩おれんじ鉄道 八代駅  
実施期間：8月22日～9月20日  
実施内容：詳細については検討中

トランセッド 2007 開催のご案内 (第一弾) First Announcement of TRANSED 2007

第 11 回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議 (TRANSED2007)

この会議は3年に一度開催される当該分野では唯一の国際会議です。昨年は静岡県浜松市で開催され国内外から400名近い方が参加されました。今回は2007年にカナダのモントリオールで開催されます。会議の概要が発表されましたのでお知らせ致します。

現在、参加意志のある方の事前登録を行っております。最新の会議情報をお知らせするためにご登録を頂くもので、会議の参加を約束するものではありません。会議の円滑な準備のためにもぜひ事前登録にご協力下さい。(次の URL で会議のホームページにリンクします  
<http://www.tc.gc.ca/transed2007> : 英語、仏語のみ)

会期 2007年6月18日～21日

場所 モントリオール

テーマ 「ベンチマークの設定、その評価と将来への展望」

参加対象 交通、移動のアクセシビリティに関する研究者、行政関係者、交通事業者、利用者及び関心のある人

主催 Transport Canada(カナダ運輸省) / 後援 Transportation Research Board(米国)

主要日程

論文及びポスターのアブストラクト募集開始 2005年6月

アブストラクトの提出締め切り 2005年10月

採否通知 2006年2月

会議登録開始 2006年9月

論文及びポスターの提出締め切り(採択された方のみ) 2006年12月

早期登録割引適用期限 2007年4月(以後は登録費の早期割引は受けられません)

論文及びポスターを発表しない方でも会議に参加することができます(登録費は必要です)

上記日程は予定も含まれており変更されることもあります。

会議に関するお問い合わせは下記にお願い致します。

\*Mailing Address: Transport Canada Intergovernmental Affairs and Accessibility, TRANSED  
Place de Ville, Tower C  
330 Sparks Street  
Ottawa, Ontario  
Canada K1A 0N5

\*Email: [transed@tc.gc.ca](mailto:transed@tc.gc.ca) / \*Telephone: 1-800-665-6478 (Canada only) or (613) 941-0980

\*TTY: 1-800-823-3823 (Canada only) or (613) 998-5368 / \*Fax: (613) 991-6422

2004年に浜松で開催された会議については当財団沢田までお問い合わせ下さい。

旅客船ハンドブック「旅客船バリアフリー基準の解説」を発行しました

国土交通省は、国内旅客船のバリアフリー化の指針として、「旅客船バリアフリー設計マニュアル」を策定しているが、旅客船事業者及び造船事業者はこれまで旅客船のバリアフリー化に対する整備の経験も浅く、高齢者や障害者の移動をどのように理解し、整備するのが望ましいのか、その判断に苦慮している意見も多く寄せられていたことから、関係者にヒヤリング等を行い、具体的に分かりやすく説明したハンドブックを作成しました。(1,500円 A4 115頁)

参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ～発刊しました

市民参加をどの様にすすめばよいのかを多様な事例をもとに解説し、今後解決すべき課題を示しています。行政、交通事業者、まちづくり・障がい者団体等への基本テキストとして作成しました。2005年2月25日学芸出版社より発行(本体価格2,900円 A5 272頁)しました。

概要は、下記ホームページをご覧ください。お買い求めについては、一般書店で取り扱っております。  
<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakugei/mokuroku/book/ISBN4-7615-2357-3.htm>

#### バリアフリー学習図鑑（CD-ROM）の公開

子供達がバリアフリーや福祉に関する学習を進める上で、障害のある人達の日常の不便さ等を知り、ハード面のバリアフリー、ソフト面での（心の）バリアフリーを理解し、バリアフリー社会の実現を自分のこととして捉えるため親しみやすいCD-ROMを作成しました。現在、交通エコモ財団のホームページにて公開しています。是非ご利用ください。

[http://www.ecomo.or.jp/index\\_img/kaisetsu.htm](http://www.ecomo.or.jp/index_img/kaisetsu.htm)

#### らくらくおでかけネット

現在は、鉄道駅 3,944 駅、空港 83、バス 180、旅客船 456 ターミナルの情報を提供しています。最近の1日のアクセス件数は、約4,000件となりました。特に、携帯端末によるアクセスが増えています。また、ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅が公表されています。なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス：(パソコン版) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>

(携帯版 = i-mode, vodafone) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>

(携帯版 = EZ-web) [http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile\\_ez/](http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/)

#### 公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開していますが、こちらは、あくまでも地域の市民や学生の皆様などが自主的に評価に取り組みられる時のために提供していますので、ご自由にお使いください。なお、実際に駅を評価される場合は、皆様の自主的な活動として、鉄道事業者の方にご連絡してください。

#### (4) 行政からのお知らせ

##### ユニバーサルデザイン政策大綱が公表（国土交通省）

国土交通省では、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、今後、身体的状況、年齢、国籍などを問わず、可能な限り全ての人が、人格と個性を尊重され、自由に社会に参画し、いきいきと安全で豊かに暮らせるよう、生活環境や連続した移動環境をハード・ソフトの両面から継続して整備・改善していくという理念に基づき国土交通行政を推進するため、この度、「ユニバーサルデザイン政策大綱」を策定致しましたので公表いたします。  
[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha05/01/010711\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha05/01/010711_.html)

##### 「公共サービス窓口配慮マニュアル」の発行について（内閣府）

内閣府は、障害者基本計画（平成14年12月24日閣議決定）に掲げられた「公共サービス従事者に対する障害者理解の促進」を具体化するため、障害のある方が窓口を利用される際に配慮すべき事項を具体的に示した「公共サービス窓口における配慮マニュアル」を作成しました。

マニュアルの作成にあたっては、障害者施策推進本部の下に、全府省庁及び人事院で構成される「公共サービス適切対応推進チーム」を設置し、障害種別の各障害者団体から要望を聴取するとともに、国の公共サービス窓口現場の状況や課題を調査し、これらを踏まえてマニュアルが作成されました。

マニュアルは、国の公共サービス窓口機関で活用するほか、都道府県及びサービス窓口を有する関係団体等にも配布されました。

内容については内閣府ホームページからダウンロードできます。

<http://www8.cao.go.jp/shougai/index.html>

～すべての人々が安心して生活できるバリアフリー環境を目指して～  
都道府県別バリアフリー指標の公表

国土交通省では、バリアフリー施設整備の進捗に、地方公共団体の取り組みに差が見られることから、旅客施設、道路、都道府県庁・市町村役場等の公共建築物、バス車両等のバリアフリー化の状況、交通バリアフリー法に基づく基本構想の策定状況等の個別指標について情報収集を行い、地方公共団体毎にとりまとめて公表することとしました。

これにより、地方公共団体の意識の向上、基本構想作成促進を図り、面的なバリアフリー環境の整備に資することを目的としています。

[http://www.mlit.go.jp/barrierfree/barrierfree\\_.html](http://www.mlit.go.jp/barrierfree/barrierfree_.html)

交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況（平成17年6月15日まで）

基本構想を作成済みの市区町村 176市町村(209基本構想)

詳細はこちらまで [http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrier/jyurijyoukyou\\_.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrier/jyurijyoukyou_.html)

#### (5) 各種催し物のお知らせ

日本手話学会第31回大会

日時：7月16日～17日 / 場所：けやき会館

第3回ユニバーサルデザイン全国大会

日時：8月17日～18日 / 場所：神戸国際展示場

第10回チャレンジド・ジャパン・フォーラム

日時：8月18日～19日 / 場所：神戸ファッションマート1Fアトリウム

日本福祉のまちづくり学会第8回全国大会 <http://www.jice.or.jp/fukushi/>

日時：8月25日～26日 / 場所：千葉県教育会館

日本建築学会大会（近畿） <http://news-sv.aij.or.jp/taikai/s1/>

日時：9月1日～3日 / 場所：近畿大学

日経住まいのリフォーム博2005 <http://www.nikkei.co.jp/events/reformhaku/>

日時：9月15日～18日 / 場所：東京ビックサイト

第32回国際福祉機器展 H.C.R2005 [http://www.hcr.or.jp/2005kaisaiyoukou\\_j.html](http://www.hcr.or.jp/2005kaisaiyoukou_j.html)

日時：9月27日（火）～29日（木） / 場所：東京ビックサイト

福祉用具展 in 杜の都2005 <http://tfusvsun.tfu.ac.jp/js/g/tenji/>

日時：10月8日（土）～9日（日） / 場所：東北福祉大学

REHA CARE（リハケア）国際リハビリテーション展 <http://www.messe-duesseldorf.de>

日時：10月12日（水）～15日（土） / 場所：ドイツ デュッセルドルフ

Mediphar Taipei 2005 <http://www.taipeitradeshows.com.tw/mediphar/>

日時：11月10日（木）～13日（土） / 場所：台北（TWTC Exhibition Hall）

第18回全国健康福祉祭ふくおか大会 ねんりんピックふくおか2005

<http://www.city.kitakyushu.jp/~nenrincipic/Pages/hw.html>

日時：11月12日（土）～15日（火） / 場所：西日本総合展示場

P.P.C. 2005 第7回西日本国際福祉機器展 <http://www.nishiten.or.jp/fukushi/>

日時：11月13日～15日 / 場所：西日本総合展示場・本館

2005 光州国際シルバー博覧会 <http://www.seniorfair.or.kr/>

日時：11月18日～21日 / 場所：金大中コンベンションセンター

高齢、障害と自立に関する国際会議 <http://www.icadi.php.ufl.edu/>

日時：2006年2月1日～4日 / 場所：フロリダ大学

バリアフリー2006 <http://www.itp.gr.jp/bf/>

日時：2006年4月20日～22日 / 場所：インテックス大阪

(6) その他

書籍に関して

現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページへ。 [http://www.ecomo.or.jp/barrier\\_free/bari\\_f\\_index.html](http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html)

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、コラム等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンをご転送頂く際は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべくE-mailで送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

**コ ラ ム**

前回のこのメールマガで、韓国の「交通弱者の移動便宜増進法」のことを少し述べたが、それに関連するわが国の政策として、去る7月12日「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方を踏まえた「ユニバーサルデザイン政策大綱」が国土交通省より発表された。

この政策大綱の要点は、個々のニーズに柔軟に対応するよう、また利用者や住民中心の視点に立ち、それらが参加の下、交通、住宅などで安全で安心したまちづくりを進めるとのことである。

ハートビル法や交通バリアフリー法の一体化やガイドラインの制定などこれまで以上の安全で円滑な移動の促進を図ることが記載されている。

これまで言われていた「移動制約者」の言葉も無くなり、また先般メールマガで記した移動権の問題も解消され、全ての人にとって暮らしやすい、移動しやすい環境の整備の構築が行われると思っておりますが、重要なことは、みんなが目的に向かって互いに協力しあい、つくりあげていく協働の考え方が大きな意味を持つことになるでしょう。

先日、横浜市交通局の方に聞いた話であります。市の交通局は5年ほど前から、心のバリアフリーを推進しており、現在、駅で移動困難者を支援するボランティア登録員が840名いるとのことである。本年度から、国土交通省は常駐型の交通ボランティアの整備のためモデル事業を実施する。ボランティアや駅に係る人が、移動に困った人を見かけたときは、切符の購入を手伝ったり、荷物を持つのを手伝ったりして、移動の困難な方を支援しようとするものである。先進的なモデルとして今後大いに期待される。

その昔、鉄道時刻表に赤帽さん(荷物の運搬をしてくれる人)がいる駅は帽子のマークがついていた。ボランティアもそのようになればいいのであろうが、等身大で考え、気づいた人が手助けする。隣に困った方がいれば手助けをする気持ちの醸成ができれば最高である。